石巻市指定文化財の指定について

＜市長コメント＞

このたび、６月２７日付で「アンバサン」を石巻市指定無形文化財に指定しましたので、御報告申し上げます。

アンバサンは、長面地区の北野神社末社（まっしゃ）大杉神社で毎年２月８日直近の日曜日に神社総代、地区の役員、氏子青年会、招待者、氏子らが行っている神事であります。

この神事は奇祭とも称され、参加者は儀礼の中でヘソビといわれる煤（すす）を大根で互いの顔に塗り付けあい、身体健康、無病息災を祈り、ヘソビを付けたまま、太鼓に合わせて唱え言葉を唱和し、大漁、五穀豊穣を祈るもので、長面地区では３００年から４００年以上続くとされております。

東日本大震災により長面地区が災害危険区域に指定され、居住できなくなってからも元の地域住民が集まり、伝承してきました。

地域色があり、奇祭とも称される個性的な祭りは、人々の信仰を受け、地域で親しまれ、伝承され続けてきた歴史的背景に価値が認められることから、石巻市指定文化財として指定し保存を図ることといたしました。